

## 今号の作業

# メーターとフロントタイヤを組み立てる

今号では、先号で提供した「組み立て済みフロントホイール」にタイヤを取り付け、フロントタイヤを完成させる。また、スピードメーター及びタコメーターを組み立てて、トップブリッジに取り付ける。小さなパーツが多いので、破損や紛失に十分注意して作業を進めよう。

## 今号のパーツ



- ①メーターレンズ×2
- ②スピードメータープレート×1
- ③タコメータープレート×1
- ④メーターケース×2
- ⑤トップブリッジF×1
- ⑥メーターピン×2
- ⑦メーターニードル×2
- ⑧メーターピンワッシャー×2
- ⑨ビス(Gタイプ)×3  
(※1本は予備)
- ⑩トップブリッジR×1
- ⑪フロントタイヤ×1

## 使用する道具

- ・+(プラス)ドライバー(1番)
- ・ピンセット
- ・ラジオペンチ

## 用意するもの

- ・フロントホイール  
(第2号で提供したもの)

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。

※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様異なる場合があります。

## タイヤを洗っておこう

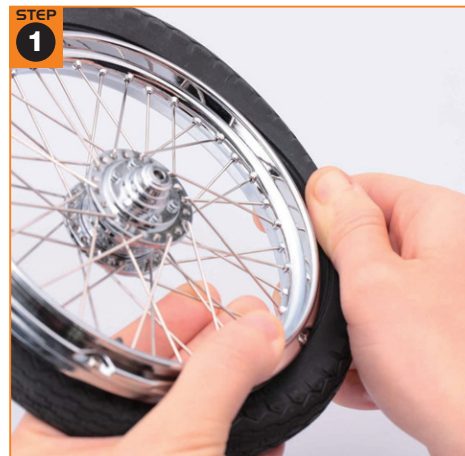


今号で提供したフロントタイヤは、そのままの状態でも保管しておく、タイヤの表面が粉を吹いたように白くなってしまうことがある。そこでタイヤの表面を台所用の中性洗剤を使って洗っておくと、長くコンディションの良い状態を保つことができる。洗浄後はしっかりと乾かし、仕上げにハンドクリームなどを薄く擦り込んでおくとい。

タイヤの洗浄は必ず必要な作業ではないが、組み込んでから洗浄するのは難しいので、このタイミングで行うのがベスト。

STEP

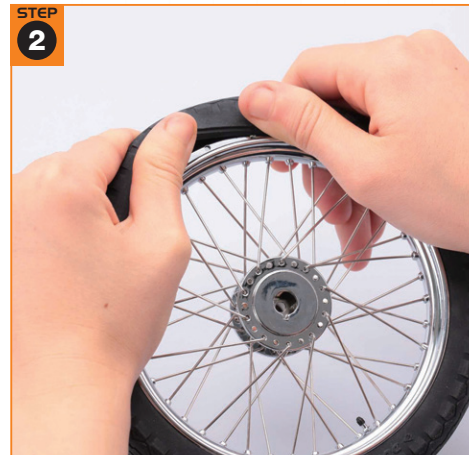
1



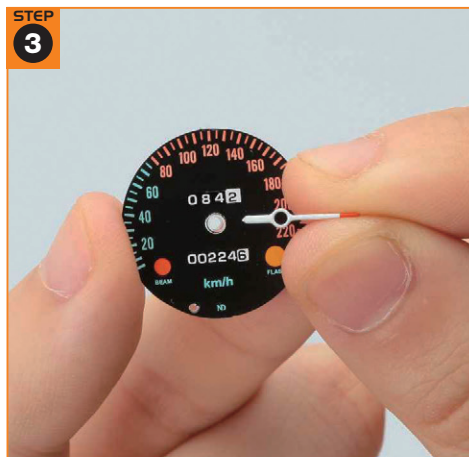
第2号で提供したフロントホイールにタイヤをはめ込む。タイヤの内側にある溝に、ホイール周囲の凸部分をはめ込んでいく。タイヤの縁をめくりながら作業すると簡単。なお、タイヤのトレッドパターンの回転方向は気にしなくてよい。

STEP

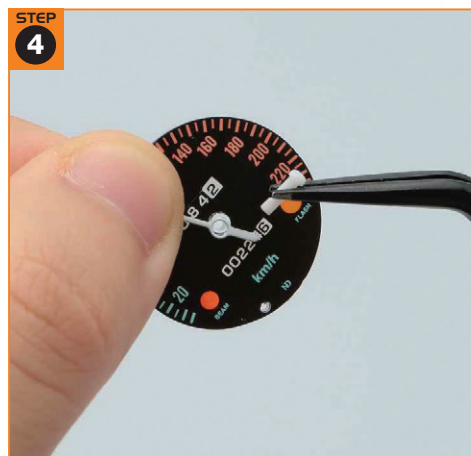
2



片面をタイヤにはめ込み終わったら裏返し、もう片面もタイヤの溝にはめ込んでいく。このときもタイヤの縁をめくりながらかぶせていく。ホイールにタイヤをはめ込み終わったら、タイヤの周囲を揉んでホイールに密着させる。これでフロントタイヤは完成。



②スピードメータープレートに、⑦メーターニードルを乗せる。メーターニードルの位置は後で調整するので、この段階ではどの方向でもかまわない。



スピードメータープレート中心に開けられている穴とメーターニードルの穴を合わせたら、そこに⑥メーターピンを差し込む。



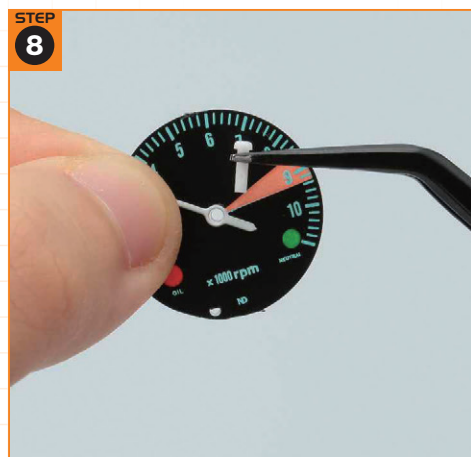
⑧メーターピンワッシャーを、突き出しているメーターピンの軸に差し込み、真っ直ぐに押し込んで固定する。ラジオペンチではさむとき、力を入れすぎると割れてしまうので注意が必要だ。



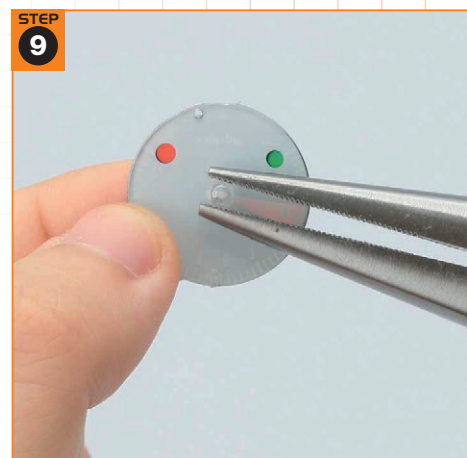
スピードメータープレートを表に返し、メーターニードルを任意の数値に合わせる。



③タコメータープレートに、⑦メーターニードルを乗せる。この工程は③と同じ要領で行えば問題はない。



タコメータープレート中心に開けられている穴と⑦メーターニードルの穴を合わせたら、そこに⑥メーターピンを差し込む。



⑧メーターピンワッシャーを、突き出しているメーターピンの軸に差し込み、真っ直ぐに押し込んで固定する。ラジオペンチではさむとき、力を入れすぎると割れてしまうので注意。



タコメータープレートを表に返し、メーターニードルを任意の数値に合わせる。

STEP  
11



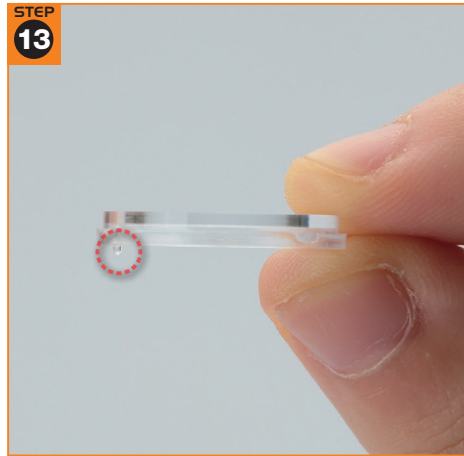
組み立てたスピードメータープレートを⑥トップブリッジの“左側”に取り付ける。スピードメータープレート裏側の上部に突起があるので、それをトップブリッジ側のへこみに合わせる。

STEP  
12



スピードメータープレートを取り付けた状態。この突起とへこみは“位置合わせ用”なので、まだ固定されていない。スピードメータープレートが落ちないように注意しよう。

STEP  
13



①メーターレンズを用意する。真横から見ると、縁に段差があり、1箇所に突起のあることがわかる。取り付けるときは、段差の広い方を下にする。

STEP  
14



スピードメータープレートの下側に小さな穴が開けられているので、そこにメーターレンズ裏側の突起を差し込んで位置を調整する。

STEP  
15



次に④メーターケースを確認する。裏返すと、緑の3箇所に突起が設けられている。この突起をトップブリッジのメーターケース取り付け部周囲にある穴へ差し込む。

STEP  
16



トップブリッジの穴の位置を確認し、スピードメータープレートとメーターレンズが落ちないように注意しながら、メーターケースを上からかぶせる。

STEP  
17



メーターケースを真っ直ぐに押し込み、スピードメータープレートとメーターレンズを固定する。

STEP  
18



次にタコメーターの作業に移る。タコメータープレートの下側に小さな穴が開けられているので、そこにメーターレンズ裏側の突起を差し込んで位置を調整する。



トップブリッジの穴の位置を確認し、タコメータープレートとメーターレンズが落ちないように注意しながら、④メーターケースを上からかぶせ、真上から強く押し込んで固定する。



⑩トップブリッジRを用意し、組み立てたトップブリッジRを取り付ける。トップブリッジRには表と裏があり、写真の丸で囲った部分の穴が六角形の方が表となる。



トップブリッジの裏面・下にある突起をトップブリッジRの表面・中央付近にある穴にはめ込み、指先で強く押し込んでおく。



トップブリッジは、メッキ処理を施したパーツを黒で塗装したものだ。そのため、黒い部分を爪などの硬いものでこすると、塗料がはがれてしまう場合があるので注意しよう。



トップブリッジを裏返し、トップブリッジを組み付けた部分の穴に⑨ビス(Gタイプ)を差し込み、+(プラス)ドライバー(1番)を使って真っ直ぐにネジ込む。



もう片方の穴にも⑨ビス(Gタイプ)を差し込み、+(プラス)ドライバー(1番)を使って真っ直ぐにネジ込む。

### 今号の完成



これで今回の作業は終了だ。トップブリッジから出ているケーブルは、メーターを発光させるためのもの。乱雑に扱うと断線などのトラブルが起こるので、くれぐれも慎重に。